

第三者関与の選考 学術会議側が反発

「(一)都合主義」再考を要求

日本学術会議は八日、会員選考プロセスへの第三者関与などを盛り込み政府が示した組織形態見直し方針を巡り、対応を議論する総会を開いた。出席した内閣府の担当者は、方針に基づく新たなルールの下で次期会員選考を行うよう求めた。関連法の改正案を来年の通常国会に提出する。

担当者は、関連規則の整備などに時間がかかるとし

日本学術会議は八日、会員選考プロセスへの第三者

関与などを盛り込み政府が示した組織形態見直し方針を巡り、対応を議論する総会を開いた。出席した内閣府の担当者は、方針に基づく新たなルールの下で次期会員選考を行うよう求めた。関連法の改正案を来年の通常国会に提出する。

日本学術会議は八日、会員選考プロセスへの第三者関与などを盛り込み政府が示した組織形態見直し方針を巡り、対応を議論する総会を開いた。出席した内閣府の担当者は、方針に基づく新たなルールの下で次期会員選考を行うよう求めた。関連法の改正案を来年の通常国会に提出する。

首相による新会員候補の任命拒否を機に浮上。今月六日に示された政府方針は、組織形態については現在の「国の特別の機関」を維持する一方、運営状況に関する外部評価機能の強化などを盛り込んだ。

「総理大臣による任命が適切かつ円滑に行えるよう必要な措置を講じる」との文言もあり、総会では「任命拒否が可能という意味か」と批判、再考を求めた。梶田隆章会長は「会議の在り方や活動に極めて深刻な影響を及ぼす可能性がある」と懸念を示し、「二十一日に開く総会で対応を取りまとめる考え方を示した。

梶田隆章会長は「会議の在り方や活動に極めて深刻な影響を及ぼす可能性がある」と懸念を示し、「二十一日に開く総会で対応を取りまとめる考え方を示した。

梶田隆章会長は「会議の在り方や活動に極めて深刻な影響を及ぼす可能性がある」と懸念を示し、「二十一日に開く総会で対応を取りまとめる考え方を示した。